JAPA E-Journal 2026-011
ビジネス航空委員会
2026-10-21

航空情報発行までの流れ

航空情報センター(AISC)

我々運航者が確認する航空情報の発行手順について航空情報センターのご担当者様よりご説明を頂きました。

▼AIP
①公開日の約15日前：発行依頼の締切り
・内容の審査・依頼者との調整（国際基準に基づいたAIPの形式か？発行日や有効日、内容に矛盾等はないか？）
・AIPの原稿作成（図面作成含む）
・システムへのデータ入力
・製品（PDF版やデータ）の評価
②公開日の2日前：公開する情報の完成
③公開日の1日前：公開する情報をサーバに投入
④発行日の2週間前：公開日（SWIMポータルで公開）
⑤AIRAC日：発行日

原則として、発行日から28日後または56日後に有効となりますが、場合によっては、それ以外の日や、発行日に有効となるものもあります。

▼ノータム
①発行依頼の受け付け
②審査・依頼者との調整（国際基準に基づいたノータムの対象事項か？有効期間や内容に矛盾等はないか？）
審査以降は、有効開始が直近のものを優先して作業を行います。
5分以内に発行できるものもあれば、依頼が集中していて発行が遅くなる場合もあります。
③システムへの入力・発行

AIS JAPANのときは、テキストのノータムを発行後にグラフィックノータムの図を作成していましたが、SWIM開始以降は入力した情報を元にグラフィックが作成されますので、テキストとグラフィックは同時に発行されます。

JAPA E-Journal 2026-011
ビジネス航空委員会
2026-10-21

航空管制通信官

東京国際対空通信局(Tokyo Radio)



管制通信卓

画像解像度は情報保護の観点から意図的に下げています。

❶AGSS（Air to Ground communication Sub-System）
交信記録の入力や飛行計画等を参照するためのシステム
❷OPDU(Oceanic Position Display Unit)
洋上空域を飛行する航空機の予測位置を表示するシステム
❸FACE(Flight object Administration CEnter system)
航空情報や気象情報等を参照するためのシステム
❹SELCALジェネレーター
航空機ごと個別に割り当てられたSELCALコードを入力・送信することで、当該航空機を呼び出すことができるシステム
❺無線・有線電話操作パネル
❻マップ周波数・表示端末
隣接国の航空図等を表示するためのシステム